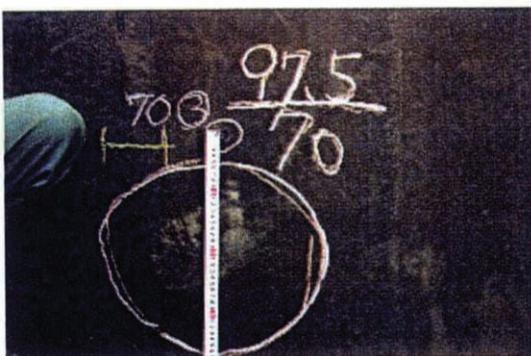


開削調査カルテ (9)

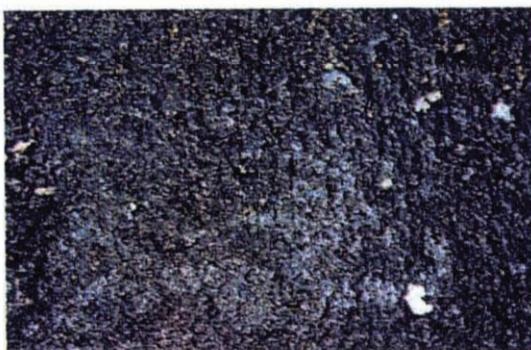
⑨. SP97.5-70.0 ふくれ 平成13年度調査



表面状況



深さ 6 cm で板状に剥離



剥離面は湿潤だがアスファルト剥離は見られない



層内の状況確認のため切断



ピンホール部 細かい空隙が存在



骨材周りに緩み、細かい空隙が存在

項目	状況
測点	SP 97.5-70.0
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	30cm
剥離面深さ	深さ6.0cm
剥離面水分	有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離は見られない。
供試体内部状況	骨材周りに空洞が存在している。微少な空隙が散在している。
損傷進行深さ	6.0cm

開削調査カルテ (10)

⑩. SP103.4-50.5 ふくれ 平成13年度調査



表面状況 ピンホール有り



厚さ7cm程で採取 下部混合物は健全



層内の状況確認のため切断



切断面



ピンホール部分断面
層内へ連続した空隙が存在



膨れ部分断面
直径1.5cm程の空洞が存在

項目	状況
測点	SP103.4-50.5
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	110cm
剥離面深さ	深さ8.0cmで混合物が破壊した。
剥離面水分	無し
剥離面骨材のAs剥離	破壊面の混合物は健全である。
供試体内部状況	直径2.5cmの空洞が存在している。空洞周辺に微少な空隙が散在している。
損傷進行深さ	5.0cm